

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

文化財修復事業に期待

経済建設委員会

当委員会に付託された議案は予算案件5件、条例案件4件及び陳情1件で、審査の結果すべて原案のとおり可決及び採択すべきものと決しました。

一般会計補正予算の農林水産業費では土地改良事業の設計委託料

54万6千円は、四沢ダム浚渫に伴う土質調査を実施する費用で、堆積している土砂が軟弱で、どの程度浚渫できるか正確には分からないが、来年度から2カ年で実施したいとの説明でした。商工費では、木曽漆器振興事業費52万6千円を投じて、漆器修復工房の改修工事を行い、塗り直した

長尺部材の乾燥用の風呂^{風呂}2基を設置し、今後「名古屋城の復元事業」に対応するものです。土木費では、輸送対策事業40万4千円については、市内全域の地域振興バス停の時刻盤の改修と、新規路線の北小野線バス停留所の設置に係わる経費との説明を受けました。



木曽漆器修復工房を視察

奨学資金貸与条例の一部改正を可決

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された、平成23年度補正予算など5件の議案及び請願1件について、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決・採択すべきものと決しました。

塩尻市奨学資金貸与条例に関しては、返済の減免率の根拠や開始



えんぱーくで学習に励む中学生たち

時期の質問に対し、近隣市の率を参考にし、市内に長く居住し納税して頂くためとの答弁がありました。さらに、誓約書の扱いの質問に対し、内容を今までより厳しくしたいと答弁がありました。

平成23年度補正予算では、こども広場事業について、備品購入費430万5千円についての質問に対し、木製大型遊具

などの備品であり、全額県費で実施との答弁がありました。さらに、こども広場の利用状況を質問したのに対し、11月末現在の登録家庭数は3千243家庭、7万5千人以上の利用があると答弁がありました。

障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書を国等へあげることとしました。

4月1日 ごみの共同処理スタートへ

総務環境委員会

当委員会に付託された議案は、塩尻市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例ほか条例案件2件、松塩地区広域施設組合への加入についてなど事件案件4件、平成23年度一般会計補正予算など予算案件3件と、議員提出議案と

して防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書についての計10件について慎重審査の結果、すべて原案どおり可決すべきものと決しました。

焦点は二つ。一つは松本市、山形村とのごみの共同処理化に伴い、塩尻・朝日衛生施設組合は平成24年3月31日で解散し、新たに松塩地区広域施



塩尻消防署改修状況を視察

設組合に加入するための事務処理を認めたこと。もう一つは防災会議に女性の視点を取り入れる必要性の観点から意見書を提出することです。

ちなみに、塩尻消防署にはこの度の改修で女性専用仮眠室が新たに設置されました。近いうちに女性消防隊員の配置も期待されます。